

坐薬



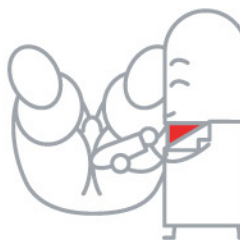
坐薬は肛門から入れ、直腸の粘膜から成分を吸収させて使う薬です。一般的に熱に弱く、体温以上になれば自然に溶け出してしまいますので、冷蔵庫への保存が原則です。ただし冷凍庫では薬の成分が変質するおそれがありますので、保存してはいけません。

坐薬の準備

1回の使用量を確認します。1個未満の場合は、指示された容量にはさみ、カッターなどを使用して調節します。例えば1/2の指示があった場合は、包装のフィルムごとカットして先のとがった方を使用し、残りは捨てます。

挿入の仕方

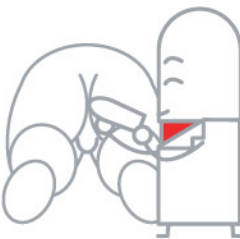
【おむつを代える体勢で】



小さい子の場合、おむつを替えるような姿勢で坐薬を挿入します。足をあげると肛門が緩くなるので、一気に押し込みます。挿入ににくい場合は滑りを良くするため少し水をつけても良いです。足をあげたり、足をばたばたすると坐薬が飛び出ることがあるので注意

しましょう。入れたら1~2分程度ティッシュで押さえておきます。

【ハイハイの体勢で】



おむつを替えるような姿勢をいやがるときには、ハイハイの姿勢か横になって膝を抱えるような姿勢をとり、坐薬を入れても良いです。お子様に口を開けて「ハーッ」と息をしてもらいと、入れやすくなります。入れた後は、1~2分程度ティッシュで押さえておきます。

坐薬が出てしまったら

挿入直後で坐薬が指で持てるようなら、入れ直します。10分以内に出てしまった場合はもう一度入れ直すのがよいですが、10分以上たっていれば体内に大部分吸収されている可能性があるので、追加を入れずに様子観察をします。

☆坐薬を入れる前にはよく手を洗いましょう。

☆坐薬は約30分程度で効果が現れますが、効果が出ないからといってすぐ次の薬を使用してはいけません。指示された使用回数、使用間隔を守りましょう。

☆多くの坐薬の保管は冷所保管ですが、その必要がない坐薬もあります。薬の袋の表示を見て適切に保管しましょう。

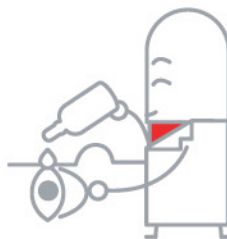
点眼薬



点眼薬の使用量は1滴です。点眼をいやがる子供は多いので手早く入れてあげましょう。

点眼の仕方

【上向きにだっこして】



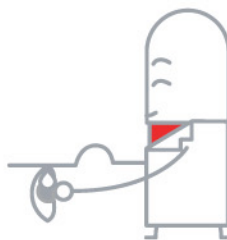
お母さんが床に座り、お子様を膝の間に上向きに寝かせます。お子様の頭を固定して聞き手に点眼薬を持った後、顔を見ながらもう片手で下まぶたを軽く引き、目を開けて点眼します。1滴入れば目をパチパチさせ、あふれた点眼液はティッシュなどで拭いてあげます。

【上を向いて】



お子様と向かい合い、上を向いてもらいます。片手で下まぶたを軽く引き、目を開けて点眼します。少しの間(できれば数分)、目をつぶるようにしてください。あふれた点眼液は清潔なティッシュなどで拭いてあげます。

【月齢の低い赤ちゃんは】



座布団などに寝かせ、あかんべえをさせて下まぶたに一滴おとします。その後下まぶたを上押し上げしばらくそっと押さえます。あふれた点眼液は清潔なティッシュなどで拭いてあげます。

☆点眼時にまつげやまぶたに触れると汚れ(細菌)が瓶に入り、薬液の汚染の原因になるため注意しましょう。

☆2種類以上使用する場合は5分程度間隔をあげましょう。

☆薬液中の菌による汚染を防ぐため、使用開始後はできるだけ冷所に保存し、使用した残りは捨てましょう。